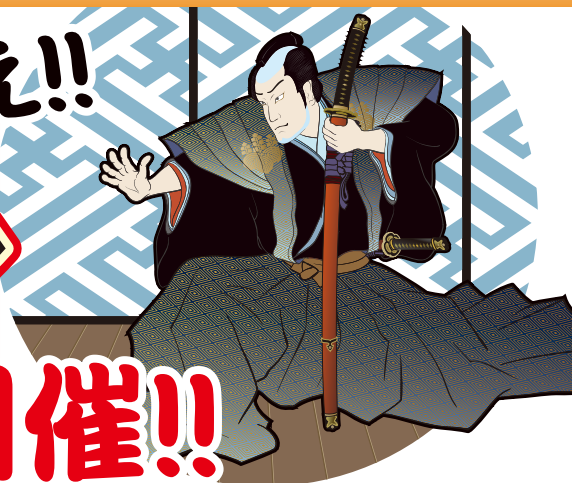


みなの方 出会え! 出会え!! 巨大 合コン さばコン 開催!!



9月9日(日)、鯖江市内では初となる、街ぐるみの巨大合コン「さばコン」が、さばえNPOサポートの主催で開催されました。

これは、市街の活性化とアピール、そして男女の出会いの場の提供といった、様々な目的を持ったイベントです。

この日は「さばえ秋HANABI」の開催日でもあり、さばコン参加者には花火も楽しんでもらおうと、特別観覧席が用意されました。



▲お話し相手の好きなお料理をとりにつけてあげる姿も。

花火の日は、ここ何年か雨続きだったため、お天気が心配されましたが、幸いにも好天にめぐまれ、絶好のさばコン日和、秋HANABI日和となりました。

当初は、男女100名ずつ合計200名、協力店も8店舗で計画されましたが、鯖江市内からだけでなく、県内各地から応募が殺到したため、急遽、男女120名ずつ



和・洋・中、それぞれのお店で趣向を凝らしたお料理たち。



の合計240名、お店も10店舗に増やすことに。それでもキャンセル待ちが出るほどの盛況ぶりでした。

まず参加者は、あらかじめ決められた1店舗目のお店に徒歩や巡回バスで移動し、用意された料理やドリンク、そして初めて出会った人たちとの会話を楽しみました。1時間ほどすると、これも決められた2店舗目のお店へと移動となり、それからまた1時間ほどで、好きなお店に移動できるフリータイムというスケジュールです。

各店舗では、地元鯖江産の吉川ナスや新米(つつじの舞)を使った料理が振舞われるなど、鯖江ならではの演出も見られ、参加者からは「楽しかった」「また参加したい」など、スタッフや各店舗を喜ばせる言葉が聞かれました。

さばコン終了後、参加者の半数以上が「さばえ秋HANABI」を楽しんだとのこと。鯖江の秋の夜空を彩る花火を見ながら、新たな出会いのこれからに、きっと胸をときめかせていたことでしょう。

編集・お問い合わせ この回覧板は、鯖江市との協働事業で発行しています。

特定非営利活動法人 さばえNPOサポート
(さばえNPOセンター指定管理者)

〒916-0024 鯖江市長泉寺町1丁目9-20 鯖江市民活動交流センター内

TEL : 0778-54-7055 FAX : 0778-54-7058

E-mail : info@sabae-npo.org



♥誰でも気軽に使える情報発信♥

鯖江市内の市民団体ならばイベントやお知らせを掲載できます。

ホームページ : <http://www.sabae-npo.org/>

NPO×地域×企業で実現した

ザリガニ捕獲大作戦



●今回の「ザリガニ捕獲大作戦」は、国内数カ所ではしか棲息が確認されていない稀少種「アベサンショウウオ」を守るため企画されました。

「SAVE JAPAN プロジェクト」をご存知でしょうか？
全国47都道府県で“いきものが住みやすい環境づくり”を行うプロジェクトです。この9月1日(土)に越前市で実施された「ザリガニ捕獲大作戦」もそのひとつ。
民間が発信するその事業からは、大きな視点でのこれからの“協働”のありかたも見えてきます。

●“アベちゃん”を脅かす アメリカザリガニを捕獲せよ！

風が心地よい夏休み最終日。越前市の坂口・白山地区は真っ青に晴れわたった空に包まれていました。

目の前の溜池は森に囲まれ、少し神秘的なたたずまい。その岸边に、スルメを餌に釣り糸を垂れる何十人もの親子の姿が。あちこちで「かかったー！」と歓声を上げる子ども達。

SAVE JAPAN プロジェクトの「ザリガニ捕獲大作戦」は、そんな誰もが懐かしいと思う風景の中で、くり広げられました。

この地域は、極めて稀少な日本の固有種「アベサンショウウオ」や、日本一小さい「ハッチョウトンボ」なども棲息する素晴らしい環境を残していますが、アメリカザリガニはサンショウウオやトンボのヤゴを食べてしまいます。

参加者はそれを少しでも阻止しようと、ザリガニ釣りとは親子のコミュニケーションを楽しみながら、環境を守るために頑張りました。

●地域間&業種間のコラボレーション

このSAVE JAPAN プロジェクトは、東京の認定NPO法人「日本NPOセンター」が、全国的に事業展開する保険会社とタッグを組み、全国各都道府県のNPOなどと連携して行っています。

福井県の場合、事業全体の窓口は鯖江のNPO法人「さばえNPOサポート」が担い、実施は越前市の「水辺と生き物を守る農家と市民の会」が、また越前市で様々なNPOや市民、行政を繋げるお手伝いをしている中間支援団体「NPOえちぜん」や、行政である「越前市」をはじめ、様々な立場の団体や組織が幅広い協力体制を築きました。

事業の内容そのものにも大きな意味がありますが、その協力＝協働の姿は、まだ県内では珍しいタイプのものです。

とにかく行政に資金を期待することも多い市民活動の中で、お金と企画をNPOや企業で用意し、各地の団体や行政を巻き込み、市民に楽しんで参加してもらう形で全国レベルの大きな事業として成果を上げる。SAVE JAPAN プロジェクトは、そんな広い視野での市民活動のあり方も考えさせてくれるイベントでもありました。

▼3ヶ所の溜池で総勢150名が参加



◀30分あまりの釣り時間で、なんと870匹も！